

平成24年度 第2回倉吉未来中心利用者懇談会 概要

開催日時：平成25年2月20日(水)

【現委員】13名

今回出席委員：9名

※オブザーバー他関係者：3名

【意見交換の内容】(→は未来中心からの回答)

(鳥取県)プロモーターへの営業を実施しているが、その成果は出ているのか。

→7月から9月にプロモーターへの営業を実施し、来年度の予約が入ってきている。

(倉吉市)利用者へのアンケートはどのような方法で行っているのか。また、このアンケート結果をどのように分析し活用しているのか。

→ホール・セミナールーム等の施設利用者へアンケート用紙(施設完了報告書)を受付時に渡し、利用後に提出していただいている。いただいた意見をもとにサービスの向上や改善を図っている。

分析という視点では現在のアンケートでは不十分な面もあるため、今後内容を検討する。

(委員)練習室は、週末になると予約がなかなか取れない。セミナールームが空いていても、音が漏れるので使用できない。防音工事をするなどして、セミナールームでも音が出せる状態にできないものか。

→セミナールームでは会議や研修を行うこともあり、楽器の数・種類によっては隣の部屋へ音が漏れてしまう心配がある。防音工事となればかなり高額となりそうなので、設置者の県との協議になる。ホールの利用がない日は楽屋を利用できるので、ぜひ活用してほしい。また、セミナールームの利用については楽器の音量にもよるので、実際に楽器を使用してみて、隣の部屋にどの程度影響があるのか試してみることにする。

(委員)リハーサル室の利用後に清掃の義務があるとは知らなかった。清掃の時間を計算に入れて申し込みをしなくてはならないのだろうか。利用者の負担が大きすぎる。職員がするべきではないのか。

→基本的には毎朝清掃しているが、限られた清掃スタッフで全館を清掃しているため、同日に異なる利用が入る場合、前者の利用後に清掃できないこともある。リハーサル室には掃除道具を常備しているので、目立つゴミ・埃が出た場合は、次の利用者のためにご協力をお願いしている。義務ではなくお願いであることをご理解いただきたい。

(委員)前回の利用者懇談会で挙げられていた要望に対し、半年経っても未だ検討中であるのはスピーディーな対応とは言い難い。現段階でどの程度検討しているのか、何がネックになっているのか教えてほしい。

→大ホール練習プランについては具体案がまだ出来上がっていない状態で、非常に申し訳なく思っている。来年度には反映したいと思っているので、もう少し待っていただければと思う。

(委員)リハーサル室に鏡を設置していただいたことは大変ありがたい。ダンスで利用する場合は着替えをするので、更衣用に他の部屋を借りなくてはならないこともある。カーテンで仕切る程度のもので構わないので、更衣スペースを作ってもらえないか。

→対応を検討する。

(委員)ピアノの発表会などの照明について、曲に合わせていろいろと変えてもらっているが、毎年同じ照明のため、毎年観ている保護者からは変わり映えしないように見られる。現在、照明の様子はどのくらいあるのか、またどれくらいのペースで新しい模様を入れているのか。欲を言えば、毎年少しずつ照明にも変化を付けたいと思う。また、模様の見本帳のようなものはないのか。

→曲などのイメージを大切にしたいので、どうしても「この曲にはこのパターン」というのが決まってしまう。模様については少しずつ予算の中で買い揃えているので、できる限りリクエストに応えたい。模様見本があるので、打合わせのときにご案内したい。また、プロジェクターを用いて好みの映像を流すという手もあるので検討していただければと思う。

(委員)凝った照明になると、未来中心の舞台スタッフだけでは対応できないので、外部業者を入れなければならない。講習会などを開催してもらい、自分たちのなかで技術を持った人を養成できれば良いと思う。また、ただ習うだけではなく、実際の公演で補佐などで使ってほしい。

→これまでの講習会だと1日だけの単発になってしまい継続性がなかった。来年度は文化団体や学校関係などを対象とした年間を通した舞台技術講座を計画しているので、是非参加してほしい。補佐については、本番で何かあってはいけなくて、まだその段階まで考えていない。

(委員)ベーゼンドルファー演奏体験の申込方法と支払いについて、料金を当日に支払う形だと、当日キャンセルが出てしまった場合、未来中心の損失になるのではないかと。電話申込ではなく、窓口で申込みし、その場で料金も支払えば、損失がなくなると思う。

→ベーゼンドルファー演奏体験は県内全域や県外からも申込みのある人気の企画である。遠方の方の申込みを考慮して初日は電話予約のみとしている。また、普段手軽に弾くことのできないベーゼンドルファーを演奏していただくことにより魅力を伝えるという趣旨であるので、利益を求めているわけではない。キャンセルが出た場合は、当日まで申込みを受けており、前後の参加者に声掛けをして利用していただいている。

(委員)倉吉市勤労青少年ホームが耐震工事で1年間使えなくなるのは、未来中心にとってはチャンスとも言える。米子市でも公会堂が工事で使えないため、各団体が会場取りに苦労しているらしい。ホール練習プランについては、利用日が近くなってからの申し込みによる割安等、工夫をして早急に実現してもらいたい。

(委員)料金徴収状況について。団体事務局サロンの利用料が、月によっては0円の月があるが、どのような料金システムになっているのか。

→現在5団体が事務局として利用している。セミナールーム等とは異なり、3か月から1年単位の申込みのため、申込月数分の利用料をお支払いいただいております、利用料が発生しない月もある。各団体は継続して利用していただいているので、利用率は100%となっている。

(委員)照明の技術育成もそうだが、利用者の「やりたい」という気持ちを大切にしてほしい。上から押しさえつけるのではなく、その芽を育てるようにしてほしい。そうすれば、技術だけではなく、施設を大切にしようという気持ちも育つのではないだろうか。

レストランの活用については、商工会議所や銀行とも連携しながら情報収集し、検討していけばよいのではないかと。

→ご意見を参考にし、運営に活かしたい。

当日の様子(写真)

